

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 20 日 (2020.8.20)

【公開番号】特開 2019-20494 (P2019-20494A)

【公開日】平成 31 年 2 月 7 日 (2019.2.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-005

【出願番号】特願 2017-136698 (P2017-136698)

【国際特許分類】

G 0 2 B 7/02 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/02 E

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 7 日 (2020.7.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 6】

本実施形態においては、固定部材 1 0 8 を用いてフレキシブルプリント基板 1 0 5 の反力 F を受けるように構成されているため、フレキシブルプリント基板 1 0 5 の浮きを抑制することができる。また、ガイド部材 1 0 7 を固定する固定部材 1 0 8 に浮き防止の機能を持たせたことにより、省スペースで安定的にフレキシブルプリント基板 1 0 5 を引き回すことが可能となる。さらに、固定部材 1 0 8 がガイド部材 1 0 7 を固定する機能とフレキシブルプリント基板 1 0 5 の浮きを抑制する機能を兼ね備えているために、低コストのレンズ鏡筒を実現することができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 0】

本実施形態において、固定部材 1 0 8 でフレキシブルプリント基板 2 0 5 の反力を受けるとともに構成したため、浮きを抑制することができる。また、ガイド部材 2 0 7 を固定する固定部材 1 0 8 に浮き防止の機能を持たせたことにより、省スペースで安定的にフレキシブルプリント基板の引き回しをすることが可能となる。なお本実施形態において、第 2 の屈曲部 2 0 5 j はフォーカスで相対的に移動するが、これに限定されるものではなくズーム等で移動してもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

